

③〇【山形県立中央病院】

住 所	〒990－2292 山形県山形市大字青柳1800番地		病床数：609床
診 療 科 目	内科、心療内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、感染症内科、腫瘍内科、小児科、新生児内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、緩和医療科、救急科		
研修責任者名	沼畑 健司（教育研修部長）	連絡先：lib@ypch.gr.jp 023－685－2626（代表）	連絡先担当者名：浅野 幸一（総務課）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：0人、24年度：0人、25年度：0人、26年度：0人、27年度：0人、28年度：0人、29年度：1人、30年度：0人、令和元年度：1人、2年度：0人 ・その他プログラム採用 平成23年度：15人、24年度：12人、25年度：21人、26年度：17人、27年度：17人、28年度：18人、29年度：18人、30年度：17人、令和元年度：20人、2年度：16人		
研修受け入れ可能診療科※		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科、外科（呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科）、産婦人科 選択研修：整形外科、脳神経外科、泌尿器科、頭頸部・耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科		内科35人、救急科8人、麻酔科5人、外科23人、整形外科6人、脳神経外科5人、泌尿器科3人、頭頸部・耳鼻咽喉科3人、小児科7人、産婦人科5人、精神科1人、放射線科4人、病理診断科1人、眼科1人、皮膚科1人	内科19人、救急科1人、麻酔科3人、外科14人、脳神経外科4人、泌尿器科3人、小児科2人、産婦人科3人、病理診断科1人、整形外科3人、耳鼻咽喉科1人
施設の概説・特徴			
当院は、がん・生活習慣病センター、救命救急センターを併設し、山形県の基幹病院として、高度先進医療、予防医療、三次救急医療、さらには緩和ケアまで、幅広い診療活動を行っています。また、周産期医療の充実のために MFICU・NICU・GCU が設置されています。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：内科として、呼吸器、血液、糖尿病・内分泌、腎臓・膠原病の4科、他に消化器内科、循環器内科及び脳神経内科。呼吸器は肺癌の診断、化学療法、肺炎治療。血液は遺伝子標的療法、同種末梢血幹細胞移植、分子標的療法。糖尿病・内分泌は、糖尿病、高血圧、高脂血症、甲状腺疾患、下垂体疾患。腎臓・膠原病は副腎疾患の治療が中心。消化器内科は、内視鏡の治療、癌に対する化学療法、ピロリ菌除菌療法、インターフェロン治療。循環器内科は、心カテ、冠・腎・末梢動脈のインターベンション、ICD 植え込み、アブレーションを含めた不整脈診断・治療。脳神経内科は、全ての神経筋疾患の他に、神経系救急疾患の緊急入院も多い。 外科◆：消化器、乳腺、甲状腺からヘルニア、痔疾患まで、多様な疾患を治療対象としている。 心臓血管外科◆：新生児から高齢者まで、心大血管手術を中心に末梢動脈外科、静脈外科を含め診療を行っている。 産婦人科：産科及び婦人科領域全般。			
研修の概説と特徴			
研修の目標として、プライマリーケアに要求される知識・技能及び態度の修得を含む幅広い能力をもった医師の養成を目指しています。当院の研修は、受入科1科での研修が基本であるが、希望によっては複数科のローテーションも可能です（1科2か月以上）。初期研修医・専門研修医から構成される研修医会が、研修医向けの講義を企画し、また、救急当直での示唆に富む症例についての勉強会（救急 review）を週に1回開催しています。さらに、東北大・新潟大・山形大等から外部講師を招き、研修医向けの講義を開催しています。			
研修医の当直			
研修医の当直は5月から開始され、1年次と2年次が1人ずつペアで当直にあたり、当初は2年次から基本的な事項について指導を受けられるようになっています。また、上級医も、総合系、救急系、循環器、脳神経など計6人が常時当直しており、研修医当直の診療行為に対して指導的責任を持ちます。また、当直医以外にも各診療科で当番体制をとっており、24時間あらゆる疾患に対し指導を受けることができますようになっています。			
処 遇			
●給与：1年目月額361,804円、2年目379,784円、その他時間外勤務手当、宿日直手当（従事時間に応じて、10,000円または20,000円）、通勤手当等支給。年間総額1年目約560万円、2年目約780万円 ●食事：院内食堂、仕出し弁当、売店での弁当販売、近隣にコンビニ、飲食店あり ●宿舍：個人準備 住宅手当あり（上限27,000円）なお、希望があれば病院敷地内に医師公舎があり入居可能です。 ●居室：研修医専用医局あり、専用机あり ●図書・文献：各種資料検索のための図書室が常備されており、医学中央雑誌、Up To Date 等が利用可能。また、外国雑誌を中心に電子ジャーナルあり ●インターネット環境：各自の机からインターネット接続が可能			

※「必修」で掲載されている診療科は、「自由選択」でも研修可能です。

◆令和4年度当院での外科（必修）担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。